

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----|---------------|
| ○事業所名 | なないうKids | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年 4月 1日 | | ～ 令和7年 3月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21人 | (回答者数) 5 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年 4月 1日 | | ～ 令和7年 3月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 3月 14日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 1 | 1時間という決められた時間を集中して活動に取り組み、目的意識を持って運動に取り組める環境を作っている。 | 活動の時間割や活動内容を掲示しているので見通しを持ちやすく時間の概念を意識できるようしている。 運動を楽しむことを一番の目的にしているので良い距離感で運動に関わることができるようにしている。 | 利用者が飽きが来ないように運動内容をアップデートしていきたい。 常に利用者に必要なものを提供していきたい。 |
| 2 | 1時間ごとの入れ替わりの中で送迎を行い利用者が通いやすい配慮を行っている。 | 保育園・幼稚園・学校・学童など利用者のリズムを作るためにできる限りの場所には送迎で行くようにしている。 | 送迎をするには時間や距離などの問題があるので幅広いニーズに答えられる体制作りをしていく。 |
| 3 | 1コマ最大4人という小集団の中で集団でのルールを学び集団生活に適應できるようにしている。 | 同年代での療育だけではなく異年齢での療育も行い、年齢関係なく関わりが持てるようにしている。 | 利用者同士の相性を把握してコミュニケーションがとりやすい時間をチョイスして保護者に提案できるようにしていきたい。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------|
| 1 | 送迎範囲が限られていて対応できる範囲が少ない。 | 療育の枠が埋まっていて新規の受け入れが難しい状況になっている。 | 送迎ドライバーを増やすなどして柔軟に対応できるようにしていきたい。 |
| 2 | 新規利用の受け入れの枠が少ない。 | 利用者が年々増えている。 | 提供できる療育を明確にして対象になる児童に対して療育ができるようにする。 |
| 3 | 限られたスペースでの活動になるので活動内容が絞られる。 | 運動道具なども室内に設置しているので場所がとられている。 | 安全に療育が行えるように危険なものは事前になくしてしまい見通しが良い環境作りを行っている。 |